

● 評価書素案

都市再生緊急整備地域名	本厚木駅周辺地域
-------------	----------

	上位計画、関連計画の位置づけ	都市再生に係る事業等	都市再生の効果の発現	特記事項
記載事項	<p>【第10次厚木市総合計画あつぎ元気プラン第1期基本計画(R3策定)】</p> <p>・県央地域の自立をけん引する広域拠点都市として、本厚木駅北口周辺地区において、商業・業務、行政及び文化などの多様な都市機能の集積や交通結節機能の充実を図るとともに、居心地が良く、歩いて楽しい市街地の創出による魅力ある拠点の形成を目指す。</p> <p>・中町第2-2地区周辺において、利便性の高い地域として複合施設とその周辺環境の整備を進め、魅力とにぎわいあふれる拠点都市を目指す。</p> <p>【厚木市都市計画マスタープラン(H10年策定、R3.3年改訂)】</p> <p>本厚木駅北口周辺では、市街地再開発事業等により、商業・業務機能などの都市機能の更新を推進するとともに、バス発着機能の強化、バス待ち環境の充実及びバス優先策の拡充など公共交通を優先した環境整備を推進します。</p> <p>【厚木市複合施設等整備基本計画(R2.1策定)】</p> <p>中町第2-2地区周辺において、図書館、(仮称)未来館、市庁舎、国県施設からなる複合施設の整備を推進します。</p>	<p>令和3年3月に、本厚木駅南口地区第一種市街地再開発事業として、ペDESTリアンデッキ設置などの駅前広場や業務、住宅、駐輪場機能を整備し、事業が完了した。</p> <p>令和3年10月に、(仮称)本厚木駅北口地区市街地再開発事業の区域において準備組合が設立し、事業化に向けて検討を行っている。</p> <p>令和3年7月に、市庁舎や図書館、(仮称)未来館等の機能を備えた施設を整備する厚木市複合施設整備事業についても基本設計に係るプロポーザルが行われるなど、検討が進み、事業用地も概ね取得している。</p> <p>厚木市複合施設整備事業の完了後には、厚木バスセンターの再整備を予定している。</p>	<p>人口(地域内)</p> <p>1,046人(H17)→2,121人(R3) :約103%増(市全体:約1%増)</p> <p>世帯数(地域内)</p> <p>574世帯(H17)→1,128世帯(R3) :約97%増(市全体:約19%増)</p> <p>地価(地域内)</p> <p>67万円/㎡(H16)→57.4万円/㎡(R3) :約14%減少(市内商業地域:約7%減少) ※H29算出時に地点変更あり</p> <p>中心市街地の活性化の市民満足度 約34%(H21)→約53%(R3)</p>	

項目別評価	「第10次厚木市総合計画あつぎ元気プラン第1期基本計画」において、「広域拠点都市」として位置づけられている。	都市開発事業や公共施設整備事業が進捗している。現在、市街地再開発事業や公共機能等の複合化の事業の検討がされている。	人口、世帯数、中心市街地活性化の市民満足度において、都市再生の効果の発現が認められる。	
-------	--	---	---	--

総合評価	都市開発事業・公共施設整備が進捗し、整備の目標の実現が図られつつある。 今後も新たな市街地再開発事業等に向けて、検討などが進められていることから、引き続き、推進する必要がある。	⇒	地域指定を継続
------	---	---	---------